

古代から息づく森と岩峰群、美しい海岸線を訪ねる

グランピアンズ国立公園と グレート・オーシャン・ロード、メルボルン 8日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

オーストラリア大陸東部を縦断する大分水嶺山脈の南端岩峰群と、南太平洋の荒波が作りあげた芸術的な奇岩群グレート・オーシャン・ロード。対照的な自然景観を見せる2つのエリアでハイキングを楽しみます。



出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
12/10(土)～12/17(土)	¥368,000	3/1(木)～3/8(木)	¥376,000
2/9(木)～2/16(木)	¥368,000		

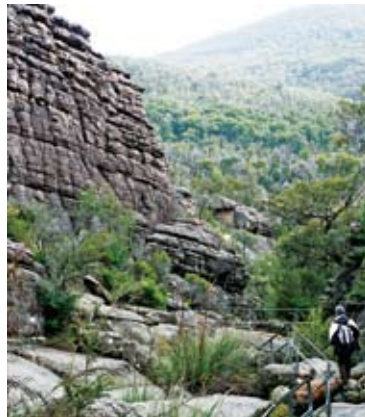
- 燃料サーチャージ(2011年8月20日現在:目安36,000円～50,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- オーストラリア・ETAS (電子ビザ)約4,200円 (2011年8月20日現在/手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- 利用予定航空会社:キャセイパシフィック航空、シンガポール航空、カンタス航空、ジェットスター ●ツアーリーダー:メルボルンからメルボルンまで同行します。添乗員は同行しませんが、出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:10人
- 食事:朝5回、昼6回、夕5回 ●利用予定ホテル:P.6掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋利用追加料金:¥55,000(ロッジ泊を含む)

グランピアンズ国立公園 (概要はP.7をご覧ください。)

オーストラリア南東端、ビクトリア州最大の国立公園。奇岩、滝、ワイルドフラワー、野生動物、太古の森・・・スケールの大きな自然を堪能できます。



▲落差100mあまりのマッケンジー滝



▲グランドキャニオンと呼ばれる渓谷のトレイルを歩く

グレート・オーシャン・ロード (概要はP.7をご覧ください。)

約200kmにわたり断崖絶壁が続く、オーストラリアで最も有名な海岸線。南端にあるオタウェイ国立公園では、美しい海岸線を歩きます。



▲有名な「12使徒の奇岩群」など、その昔、南極大陸と分かれたときに出来た断崖絶壁が続く



▲メルボルン郊外、ダンデノン丘陵に残る美しい森



▲趣向をこらしたヒールズビル自然保護区のショー

日程	発着地	スケジュール / 食事 (宿泊地)
1	各地 発	午前、東京・大阪・名古屋・福岡発→乗り継いで、ビクトリア州のメルボルンへ。 ☐☐機【機中泊】
2	メルボルン 着/発 ホールズギャップ 着	メルボルン着後、☐ビクトリア州最大の面積を誇る グランピアンズ国立公園 へ。大陸分水嶺の南端となるこの周辺では、深い森と渓谷美をお楽しみいただくことができます。 ☐☐機☐夕【ホールズギャップ泊 ☐】
3	ホールズギャップ滞在 グランピアンズ国立公園 ハイキング	☐ グランピアンズ国立公園 で一番の展望台 ピナクルズ や、 グランド・キャニオン と呼ばれる渓谷など、 変化に富む景観 を楽しめる ワンダーランド・レンジ をハイキングします(徒歩約3時間)。午後、☐展望台として有名な ザ・バルコニー や、落差100mあまりの マッケンジー滝 など、専用車で 国立公園内 の見どころを巡りながらの 軽ハイキング にご案内します。 ☐☐機☐夕【ホールズギャップ泊 ☐】
4	ホールズギャップ 発 グレート・オーシャン・ロードの奇岩展望 ショートウォーク ポート・キャンベル 着	☐ グランピアンズ国立公園 を出発し、 グレート・オーシャン・ロード へ。☐ ロック・アード・ゴージ 、 ザ・アーチ 、 ロンドン・ブリッジ などの見どころでバスを降り、奇岩を見ながらの 軽ハイキング へもご案内し、☐小さな港街 ポート・キャンベル へ。 ☐☐機☐夕【ポート・キャンベル泊 ☐】
5	ポート・キャンベル 発 12使徒の奇岩群 展望 グレート・オーシャン・ウォーク ハイキング アポロ・ベイ 着	☐朝、 12使徒の奇岩群 へ。天候などの条件が整えば、ヘリコプターでグレート・オーシャン・ロードを空から見ることもできます【お一人様95オーストラリアドル(約8,200円)、現地払い】。☐ 周辺 での散策の後、☐ グレート・オタウェイ国立公園 へ。☐ ケープ・オタウェイ 灯台の駐車場から、 ステーション・ビーチ の海岸線を経て、 エール川 のキャンプ場まで、 全長91km にも及ぶ グレート・オーシャン・ウォーク の一部をハイキングします(徒歩約4時間)。ハイキング後、☐ グレート・オーシャン・ウォーク の起点となるリゾート、 アポロ・ベイ へ。 ☐☐機☐夕【アポロ・ベイ泊 ☐】
6	アポロ・ベイ 発 グレート・オーシャン・ロード メルボルン 着	☐ グレート・オーシャン・ロード の海岸線を東進し、メルボルンへ。途中、野生のコアラを見るチャンスもあります。メルボルン到着後、フリータイム。市内散策やショッピングなどでご自由にお過ごしください。 ☐☐機☐夕【メルボルン泊 ☐】
7	メルボルン 発 ダンデノン丘陵 ショートウォーク	☐メルボルン郊外の ダンデノン丘陵 へ。オーストラリア最古の蒸気機関車、 パフフィン・ビリー 鉄道に乗車。その後、☐ 緑豊かな温帯雨林 で 森林浴 を楽しみながら、 ゆっくりと森の中を歩きます 。その後、 ヒールズビル自然保護区 へ。希少なカモノハシやタスマニアアンデビル、コアラなどが自然に近い環境の中で生活する様子をご覧いただくことができます。夜、メルボルン発→乗り継いで、東京・大阪・名古屋・福岡へ。 ☐☐機☐機【機中泊】
8	各地 着	午後、東京・大阪・名古屋・福岡着。 ☐☐機

※航空会社の都合や現地都合により日程は一部変更される場合があります。



▲ステーション・ビーチの海岸線に足跡を刻みながら、グレート・オーシャン・ウォークを歩く